

# ハーモニカ・コンサートレポート

## 第7回大宮ハーモニカコンサート

芝 貞幸

2017年11月2日プラザノースホール。最近増えてきた、いわゆる参加型のハーモニカイベントの一つ。ソロ30人、デュオ3組、トリオ2組、カルテット3組、さらに9人、10人、11人という大編成グループも。ソロは無伴奏が多いが、CD伴奏も。演芸ボランティアサークルHARMONYというグループはオカリナ、フラダンス、健康体操まで披露した。それほど慣れていない方からプロ活動展開中の方たちまでさまざまなバラエティに富んだ演奏が続き、長時間だがあきなかった。40組・人という出演者の多さにびっくりしたが、配布プログラムの左端に記入された分刻みの進行時間通りに進行し、ほぼ16:00に見事終了したことに感心した。今回私は音響を頼まれたわけだが、マイクとスタンド、ミキサーを持ち込みライン接続で行った。会場の音の響きが良好で、会場担当者の対応もよく、気持ちよく仕事ができた。ヘンリー黒河さんはじめスタッフのみなさまお疲れさまでした。

## 小金井ハーモニカアンサンブル 結成20周年記念コンサート

竹下暢彦

2017年11月19日 小金井宮地楽器大ホール

コンサートは、横浜から2時間かけて「聴きに来てよかった」の一言に尽きました。

童謡、唱歌、演歌、懐メロ、タンゴと耳に馴染んだ曲目ばかり。ファイナーレで会場の皆さんで歌う曲も、定番になっている「故郷」や「今日の日はさようなら」ではなく「山小屋の灯」と「東京ラブソディ」。長時間座っているお尻の痛さを忘れさせる内容でした。

聴きに來られた方を飽きさせないプログラム作りが大切であることを改めて認識させられました。

また、メンバー暦が結成当時の方から入会して2年程度の方まで経験に差のある総勢24名がハーモニーをまとめあげるために相当頻度の高い練習を重ねてこられたことと思います。

都内、近県だけでなく縁あって毎年東北ハーモニカ祭りに出かけていますが、それぞれでよく演奏されるアンサンブル曲で黒田彩さんの編曲は少ないのではないのでしょうか。そのような中で単独サークルが一回のコンサートで全20曲黒田彩さんの編曲を演奏されることは素晴らしいことであり、編曲集としてまとめられて多くのサークルに広がることを期待したいと思います。

## 明治大学ハーモニカソサエティ第 166 回定期演奏会

佐藤 勝則

11月25日(土)ひの煉瓦ホール(日野市民会館)大ホール

私たちの仲間があちらこちらでビデオカメラを構えている中、創部99年目の最後のコンサートが、日野市民会館にて軽快な音楽とともに始まった。緞帳が開くと、緊張のせいか表情が硬い。1部は緊張がとれないまま終了してしまった感じがした。

2部以降、ハーモニカ、フルート、クラリネット等の独奏も、少人数での演奏もとても良かった。今日のために沢山練習を行ってきたのだと思う。唯一のハーモニカだけで演奏したのが「茶色の小瓶」。選曲がとても良かった。もっと練習を行えば、ハーモニカだけでも十分に聞き応えがある演奏になると思った。四大ハーモニカソサエティの中で、ハーモニカだけで演奏しているのは、明治大学ハーモニカソサエティだけだったと記憶する。是非、頑張っ続けて欲しい。

連盟や協会主催のコンサートが各地で開催されている。合奏の参考になると思うし、講師の演奏も聴けるので、独奏の参考にする良い機会になると思う。是非、聴いてみては如何か。

アンコールでは、ホッとしたのか皆が楽しく、ステージの中を動きながら演奏をしていた。コンサートは、演奏者も観客もみんなが楽しくなければ！100周年は、どんなコンサートになるのか楽しみだ。

## 第8回ハーモニカビッグバンドコンサート2017

蓮沼慶子

11月28日 練馬文化センター大ホールこぶしホール

どの団体も力量揃いで練習の成果が楽しめた。いろいろなジャンルから4曲、力強い曲は聴いている側も思わず手に力が……。衣装は、さくらの濃い目のピンクはじめ、赤、赤、赤、NHCサロンポップスがブルーであった。舞台衣装は赤系が人気のようだ。

演奏者は圧倒的に女性が多い。指揮者も5組中3人が女性。名実共に女性の活躍が期待される時代の到来を感じさせる。

今回注目したのは、このようなコンサートでは取り上げる事の少ない演歌に華があったこと。黒田彩編曲「天城越え」「北の蛍」。瀧田宏昭編曲「夢芝居」。夢芝居の凝った演出には拍手。会場の元気な瀧田さんにも拍手。客席にはハーモニカの携わっていない人も大勢いた様子で、このビッグコンサートの人気を感じた。

第9回は、同じ会場で平成30年11月8日。

## 2017年彩ファミリー・ハーモニカ・コンサート 西村 勇(上宿ハーモニカ サークル)

快晴に恵まれた去る12月2日(土)、小平市のルネ小平・レセプションホールで、彩ファミリー・ハーモニカ・コンサートが開催された。黒田彩先生が指導される小平市の3つのハーモニカ・サークル(小平カトリアハーモニー、上宿ハーモニカ サークル、ハーモニカ花南)によって毎年行われる定期的な合同発表会であるが、今年は15回目となる記念すべき発表会であった。椅子が150席用意されたが、来訪者が多く、メンバーは席を立ってお客様にお譲りするほどの盛況であった。音響のプロ、芝貞幸さんのPAのもと、各サークルがそれぞれ合奏で5-6曲、独奏或いは三重奏/四重奏で4曲ほどを演奏した。合奏では、「恋のフーガ」、「ウインター・ワンダーランド」、「旅人よ」、「さよならはダンスの後に」、「希望のささやき」、「桃太郎の鬼ヶ島行進曲」などなどの曲が黒田先生の指揮のもと演奏されたが、各サークルが日ごろの練習の成果を発揮すべく気持ちを込めた演奏を行い盛大な拍手をいただいた。サークルの演奏に続き、黒田彩先生の講師演奏を堪能した後は、ゲストの中園康介さんのクロマチックハーモニカによる「タイスの冥想曲」などクラシック音楽4曲の演奏で心を満たして発表会は閉幕となった。

## 山下伶メジャーセカンドアルバムリリース記念ライブコンサート 長塚栄子

12月3日横浜市社会福祉センターホールで。なんと客は男性が6割~7割、伶さんの熱烈なファンたちだ。冒頭から「伶ちゃん」の掛け声AKB的(?)前中央客席全部男性、私の隣も一緒に行った中井れい子さんの隣も男性、1曲終わるごとに大きな声と拍手本当にすごい。クロマチックとの出会いは映画「ひまわり」テーマ曲を聴いた感動から。フルートからのりかえたとの話。私も大好きな曲なので演奏聴き入りました。ギター、ピアノ、コントラバス、チェロ、ドラムそれにボーカルも交えての演奏は幅があり、「ブエノスアイレスの冬」はとても素敵でした。伶さん司会とトークまた演奏と大変で結構とちりあい会場いっぱい笑わせて若さの魅力本当に素晴らしい楽しみでした。

## 第37回杉並ハーモニーメイツ・ファミリーコンサート 桜井トシ子

12月9日高円寺スタジオKにおいて、第37回杉並ハーモニーメイツ・ファミリーコンサートが開催されました。前日の雨はどこへやら、当日は快晴のお天気になりました。午後1時開演、司会は今回ピアノも演奏される斎藤有利子さん。指導の藤本和道先生はあいにく来られず、代わりに井田洋子先生の指揮で、合奏「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第二、第三楽章でスタート。7パート編成。各パート1、2名で構成。続いて小編成4組、シュガーマレット、ハートブリランテ、マグカップ、ホルンルン、この中で、マグカップの井田先生は一週間前にハーモニカを購入され、今回ハーモニカデビューとのこと。「真珠採りのタンゴ」を足に鈴をつけてリズムを取りながらの演奏でした。途中休憩、独奏13名、選曲にそれぞれの変化があり、素晴らしい演奏に聴き入ってしまいました。女性の赤の衣装が素敵でした。会員の中には80歳を超えた方が何人もいます。今年88歳米寿を迎えられる山福康夫さんはチャルダッシュを演奏、5本のハーモニカを自由自在に持ち替えていました。年齢を感じさせません。山福さんのアンコールは「子犬のワルツ」を。ファミリーコンサートの最後は合奏で「山田耕筰メドレー」。最後に佐藤善三郎さんのご挨拶の中で「37回を迎えるにあたり会員の熱意により、今回のコンサートが続けられた」ことをお話しされていました。素晴らしい演奏を心行くまで堪能させていただきました。

## ハーモニカ Morning Glory 結成 10 周年コンサート

### 高井 恵子(新すみだハーモニカ教室)

結成 10 周年を迎えたハーモニカ Morning Glory の初めてのコンサートが 12 月 10 日 13 時より台東区金杉区民館下谷分館ホールにて行われました。

Morning Glory さんは浅草の下町雰囲気たっぷりのサークルです。独奏の個性あふれる演奏アンサンブルコーナーでは、「大和撫子ビューティーズ」「大江戸六人衆」「浅草カンカン娘」「HIGH TEEN」「下町熟女クインテット」「T&K」と各アンサンブルのネーム名がユニークで衣装も工夫をこらしバッチリ、そしてそれぞれの演奏に会場が沸きました。フィナーレの全員合奏では全員の一体感あふれる音色が会場をつつみ、ハーモニカの魅力に染まりました。

講師の東和美先生の演奏「青葉の笛幻想曲」「宵待草」は情感たっぷりでここに響く素晴らしい演奏でした。

みんなで仲良く一生懸命に作り上げた気持ちが伝わるハートフルな音色に包まれた心のこもったコンサートでした。

## 第 21 回サロン・ド・エンカコンサート(12 月 4 日ルネこだいら)

小野 浩子

演歌大好き!!ハーモニカ愛好者にてのコンサート開催。黒地に和模様ドレスの伊藤かなさんの司会。横山明生事務局長挨拶に続き、第一部は会員演奏。エルビナスさんアンサンブルで幕開け。堂々たる初出場演奏は、各コンテスト優勝入賞の方々。ワッ、ハーモニカで三味線の音色に感動。私は本数勝負。(複音・ヴィネタ 2 本と民謡の雅音)。指笛に感謝!!

自身編曲に合わせた振り袖艶姿の作田さんは、田邊峯光さんのコード伴奏付き。浪曲に光る名台詞。トリは大阪から毎回出場の梁木さん。(実は赤穂の小河さんと私の先生)。

第二部は、道場主・斎藤寿孝先生が生徒(私)と観客に優しく伝授。圧巻ハイスピード・壮絶ベースに客席から感嘆のどよめき。日々練習の大切さを学べる難曲。斎藤先生の舌の構造は如何に?! 厚木ひまわりさん流石!!心に沁みる斎藤先生演奏と迫力アンコール。M・E・Q や大御所ソロ、和服ドレス歌姫他観客魅了。鍵盤ハーモニカ、ノリノリメドレー新鮮。名演奏、懇親会ビールや紹興酒にも酔いしれました。

## ハーモニカ Morning Glory 結成 10 周年コンサート

高井 恵子(新すみだハーモニカ教室)

結成 10 周年を迎えたハーモニカ Morning Glory の初めてのコンサートが 12 月 10 日 13 時より台東区金杉区民館下谷分館ホールにて行われました。

Morning Glory さんは浅草の下町雰囲気たっぷりのサークル。独奏の個性あふれる演奏、そしてアンサンブルコーナーでは、「大和撫子ビューティーズ」「大江戸六人衆」「浅草カンカン娘」「HIGH TEEN」「下町熟女クインテット」「T&K」と各アンサンブルのネーム名がユニークで衣装も工夫をこらしバッチリ、そしてそれぞれの演奏に会場が沸きました。フィナーレの全員合奏では全員の一体感あふれる音色が会場をつつみ、ハーモニカの魅力に染まりました。講師の東和美先生の演奏「青葉の笛幻想曲」「宵待草」は情感たっぷりで心に響く素晴らしい演奏でした。

みんなで仲良く一生懸命に作り上げた気持ちが伝わるハートフルな音色に包まれたコンサートでした。

## 和谷泰扶と門下生によるハーモニカコンサート(12 月 11 日スタジオ SK) 奈良利枝

今回のコンサートは門下生の精鋭 12 名の皆さんによるクロマチックハーモニカのみでの演奏形態によるものですが、そのレベルの高さに驚きました。その和声の荘厳なまでの美しさと迫力に圧倒されました。和谷先生の指揮はとても情感豊かでした。その後ろ姿からも音楽への想いやこだわりが伝わってきました。

12 本のクロマの重厚なハーモニーからくっきり浮かび上がる美しいメロディ、阿吽の呼吸でピタリと揃う拍とリズム、その全てが先生の指揮から導かれ、引き出されていました。

不思議なことに私の耳には、パッフェルベルの「カノン」からはパイプオルガンの響きが、日本古謡の「さくらさくら」からは雅楽に使われる笙やひちりきの響きが、「G 線上のアリア」からは弦楽器の響きがスタジオ S K の高い天井から降り注いでくるかのように聴こえてきました。その後様々なジャンルより 13 曲もの熱演が続き、アンコールの「きよしこの夜」で清らかに締めくくられました。とても幸せな一時でした。「明日からまた頑張ろう」と気持ちを前向きにしてくれる素晴らしいコンサートでした。